

＜有識者 特定非営利活動法人花時計 理事長 岸 智津子 様＞

県 側 県立病院の今後のあり方についてご意見をいただければと思います。

岸 様 県立病院の役割として第3次医療を担っていますので、そこがつぶれると1次、2次が対応できなくなり大変です。

民間が経営するということはいいいことかもしれないけれど、不採算の部分を切り捨てられると困ります。経済的弱者の枠も必要だと思います。そういうのもありつつ、成り立っていけるようにして欲しいです。

経営や運営がうまくいっているかのチェックというのはどこかでできますか。

県 側 経営のための中期計画や単年度ごとの事業計画というのは、必ず県でチェックがかかります。

岸 様 それはやはり必要ですね。医師を信じないということでは無いですが、不正な出費、無駄な出費が無いようにとは思っています。

あと、患者ばかり優先させるというのも問題のように思います。公立病院とはいつでも、全て患者の要望を叶えるというわけにはいきませんから。

県 側 最近よく言われるのが、病診連携ということで、病院と診療所との連携を良くして、比較的軽症の患者であれば地域の診療所にお願いするということです。

岸 様 そうですね。大きい病院なら安心という気持ちがありますから。それと、病院の使い方も良くないですね。用もないのに集会所みたいになったり、必要以上に薬を大量にもらったり。それに利用者が気づいていないのも問題ですね。

縁者ががんになったのですが、その時初めて医療というものを勉強しました。病気の度合いによって、1次でだめなら2次へ、2次でだめなら3次へという役割分担ができていることを、そのとき知りました。

県立病院の使命というのは、1次、2次病院から上がってきた患者を診る、高度医療を行う。高度医療を行ってもらうには、公的な財政支援が必要です。公立病院も経営が厳しいですね。結局人手不足ということですね。

県 側 そうですね。医師の不足が一番大きいですね。医師がいないと、建物だけでは診療ができないですから。

岸 様 医師だけでなく、看護師や他のスタッフの方々も必要です。ちゃんと交替がで

きて、給料がもらえてという体制が必要だと考えます。

県立病院ですと全て産科はありますか。

県 側 あります。総合医療センターと多治見病院は、周産期センターというものを設けてまして、小児救急もできる体制を整えています。

岸 様 出産が近くでできないというのは不安ですよ。昔は産婆さんでよかったので、あちこちの町に一つずつあればよかったのですが、命に関わることでし、賠償金などの負担が多いそうなので、昔は訴訟なんて無かったのですけど。

県 側 県立病院もそういうリスクを負いながらやっています。
県立病院への要望、感想などを聞かせていただきたいと思います。

岸 様 県立病院や公立病院は、開業医よりも威厳があった方がいいと思います。
そうすると、患者としても診察する時の気分も違うと思います。看護師が優しく接してくだされば、先生はどれだけ厳しくてもいいような気がします。
あと、医療機器は最先端のものであって欲しいですけど、建物はそれなりであればいいと思います。病院は建物では無いと思うので。
患者側の緊張感が足りないように思います。病院へのかかり方ということを考えなければいけません。今から20年くらい前は、病院が団らん場みたいになっていたことがありました。そういう体質を変えなければいけません。

県 側 県立病院の今後のあり方について、もしご提言があれば伺いたいと思います。

岸 様 職員のレベルは下げないということですね。上質な医療を行って欲しいです。
看護師をみていると、仕事が好きで使命感を持ってやっているというのは大事だと思いますね。もちろん技術も大切ですけど、特に看護師の方々は直に患者と接しますから。

県 側 看護師は、過酷な業務ですのでそれなりの条件がないとなかなか集まりにくいというのが実態ですね。皆さん持たれるイメージとしては、県立病院には風邪でも行きたくなるのでしょうね。

岸 様 そうですね。そういうところの方が高度だから信用できると思ってみえますね。行政が関わっているということで信用は高いですよ。とにかく信頼されているということが県立病院だと思います。